

「近所付き合い広目隊」

の活動に感謝



杉並第六小学校
校長 鈴木 清子

この四月より、杉並第六小学校の校長として赴任いたしました。三月までは、区内の松ノ木小学校におりました。杉六小は歴史と伝統のある、そして、地域に恵まれた素晴らしい学校であることは、今まで見聞して知っています。実際に着任して、一層、そのことを実感しています。

四月十日の「近所付き合い広目隊二周年記念お花見集会」に参加させていただきました。大変、和やかな中にも「我が地域をみんなの力で安全・安心の街に」との強い思いが感じられ、まさに、広目隊の底力を見せていただいたような気がいたしました。

広目隊の活動エリアである旧馬橋地域のほとんどは、本校の学区です。今、全国で子どもを狙う犯罪が多発している中、広目隊の方々がパトロールをしてくださり、子どもたちを見守つてくださることは、なんとありがたいことかと感謝の気持ちで一杯です。街で黄緑色のジャンパーを着たパトロール中の広目隊の方々にお会いする

とほっとします。また、六月十日に本校で実施したセーフティ教室（連れ去り防止等安全教室）の折には広目隊の方にも参加していました。学校・地域・保護者・警察が一体となつた安全指導を行いました。

本年度、本校では、一人一人の子どものかけがえのない命をまもり、よりよい生きかたを身につけさせるため、「生命を大切にした教育」を学校経営の第一の柱としました。そのため、「健康で心ゆたかな子」の育成を目指した研究・実践に力を注いでいます。何れ機会を見て、その取り組みや成果をお知らせしようと思っています。

明るい挨拶の声が行き交う街、安全で安心な地域で未来を担う子どもたちの教育に携わることを誇りに思ひ、皆様と力を合わせてまいりたいと思います。今後ともご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

さて、昨年の七月に防犯団体を横につなぐ防犯団体連絡会が発足し、早一年が経過しようとしています。防犯団体の数も現在では百十九を数え、各地域で地域の実情に合った防犯活動が展開されています。こうした防犯団体の横の連携を強化し、互いに切磋琢磨しながら、より効果的な防犯活動を展開していくことが正に大切な課題となっています。

防犯団体連絡会では、この間、全体会に加え、幹事会を適宜開催してきましたが、できるだけ多くの団体が参加できるよう、幹事団体以外の団体の参加も可とし、柔軟な会議運営に努めてま

7月1日 防犯団体連絡会出席

19 バザー・値付け

20 CS日本テレビ取材

【杉並区役所地域課より】

地域課長 関谷 隆

これまでには、日頃、馬橋地区の防犯活動に活発にお取り組み頂き、誠にありがとうございました。

アの寄贈を関係企業に要請し、実際に複数の企業から提供を受けたところです。効果的な情報発信や構成団体の情報交換が活発に展開できるよう、地域活動ネットへの登録も予定しております。区も連絡会の事務局として、また幹事として、連絡会や防犯活動の活性化に寄与することができたらと考えています。

広目隊を初めとした各団体の防犯活動が功を奏し、空き巣等の発生件数は十六年についていえば対前年比で十八%減少するなど安全安心の地域づくりに向け大きな成果を挙げていますが、これからは、より一層防犯活動の質の強化が必要になると考えています。

その意味で、広目隊が先駆的に実践している防犯バザーや情報誌の発行、独自の企画イベントの実施等を通じた地域へのアピールや地域を巻き込んだ広範な防犯活動の実践例は、示唆に富んだ特筆すべき活動として、他団体への参考となる事例となっています。今後とも、防犯団体連絡会等を通じて、他の防犯団体はもとより区及び警察などの関係機関に対しましても示唆に富むご提言をいただけたら幸いです。

防犯活動はまちづくり、人づくりの防犯活動が、犯罪を減少するにとどまらず、まちを創り、人を育てる大きなうねりとなるよう、区も精一杯支援してまいりたいと考えております。今後とも手を携えて邁進していきましょう。